

令和5年度 東住吉区地域福祉映画会

心のケアの大切さが高まる今、災害時に備えるだけでなく、
ケアや支援についても考えてみませんか？



阪神・淡路大震災時、被災者の心のケアに
奔走した実在の精神科医のヒューマンドラマ

入場無料
定員150名
要申込
〔字幕付き〕

日時

令和6年1月27日(土)
午後1時30分～4時
(受付開始 午後1時)

場所

東住吉区民ホール
(東田辺1-13-4 区役所3階)
※車での来場はご遠慮ください。

内容

- ① 映画「心の傷を癒すということ 劇場版」上映
- ② 福祉相談会とフードドライブを同時開催 (詳細は下記参照)

申込

令和5年12月26日(火)～令和6年1月25日(木) より電話(06-6622-6611)
または“さわやかセンター”窓口(田辺2-10-18)にて
※事前申込が定員に達しなかった場合、当日参加可能 <粗品あり>

フードドライブ “もったいない”を“ありがとう”に変える活動にご協力ください。

フードドライブとは、ご家庭で余っている食品(缶詰・レトルト食品・インスタント食品など)をご寄付いただく活動です。
ご寄付いただく食品などにつきましては、状況によりお引き取りできない場合がございます。予め、ご了承ください。
※ご寄付いただいた食品などは、様々な形で必要としている方々に配布させていただきます。

★お引き取りできないもの★

- 消費・賞味期限が2ヶ月を切っているもの。
- 開封されているもの。
- 生鮮食料品(生肉・魚介類・生野菜など)
- 冷凍食品
- アルコール類(みりん・料理酒は除く)

主催・問合せ先：社会福祉法人 大阪市東住吉区社会福祉協議会(さわやかセンター) TEL 06-6622-6611
受付は9時～19時まで(土曜日のみ17時30分まで) ※日・祝日は休み

あなたの心に
寄り添い続ける
《感動》が、ここに！

生き抜いた！医師として、夫として、父として——
「心のケア」のパイオニアの半生を描くヒューマンドラマ。待望の映画化！



柄本 佑

尾野真千子 濱田岳 森山直太朗 浅香航大
清水くるみ 上川周作 濱田マリ
谷村美月 趙珉和 内場勝則 平岩紙 / キムラ緑子 石橋凌 近藤正臣

主題歌：森山直太朗「カク云ウボクモ」(UNIVERSAL MUSIC)
原案：安克昌「心の傷を癒すということ 神戸…365日」(n&u) 脚本：桑原 亮子 音楽：世武裕子
配給：ギャガ GAGA★ 配給協力：大手広告

1995年、阪神・淡路大震災時、自ら被災しながらも、被災者の「心のケア」に奔走した若き精神科医・安克昌氏。本作は、当時の記録を綴った同氏の著書「心の傷を癒すということ 神戸…365日」(第18回サントリー学芸受賞)を原案として、NHKでドラマ化された本編を再編集。心のケアの大切さが高まる今、劇場公開となった。

実在の人物をモデルに描く本作の主演・安克昌^{あんかつたか}に扮するのは、高い演技力に定評のある柄本佑。その彼を支え続ける妻・終子役には、海外での受賞歴もあり数々の映画・ドラマで活躍中の尾野真千子。また、和隆の父を石橋凌、母をキムラ緑子、兄を森山直太朗、弟を上川周作が好演。さらに、濱田岳、濱田マリ、近藤正臣と、脇を固める実力派俳優たちが集結した。

STORY 幼少期に自分のルーツが韓国にあると知って以来、自分は何者なのか模索する安和隆(柄本佑)。やがて、人の心に関心を持ち、父(石橋凌)に猛反対されるも精神科医の道を志す。

そんな中、映画館で出会った終子(尾野真千子)と恋に落ちる。精神科医となった和隆は、終子とおだやかな家庭を築いていた。しかし、第一子が誕生してまもなく、大地震が神戸の街を襲う。和隆は避難所で多くの被災者の声に耳を傾け、心の傷に苦しむ人たちに寄り添い続け、「心のケア」に奔走する。

5年後、街は徐々に復興を遂げ、和隆も新しい病院に移り、理想の医療に燃えていたが、ある日、和隆にがんが発覚する——。

本作のモデルとなった

あん かつまさ
精神科医 安克昌氏

1960年生まれ。神戸大学附属病院精神科勤務を経て、神戸市西市民病院精神科経理科長を務める。阪神・淡路大震災直後より、全国から集まった精神科ボランティアをコーディネートし、避難所などで診療活動に尽力。

PTSD(心的外傷後ストレス障害)の研究者として治療活動を行うも、2000年12月、39歳で死去。



gaga.ne.jp/kokoro [@gagamovie](https://twitter.com/gagamovie) facebook.com/gagajapan [gagamovie](https://gagamovie.com)



社会福祉法人 大阪市東住吉区社会福祉協議会
(さわやかセンター)

〒546-0031
大阪市東住吉区田辺2-10-18

電話 06-6622-6611
FAX 06-6622-8973
H P <https://sawayaka-c.ne.jp/>